



同窓会報

平成21年度春季号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同 窓 会
仙台市青葉区川内澁橋通一
番二二一―五六一(直通)
印刷 創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町八番三四号

順天堂大学 和賀井敏夫名誉教授 (中42回) による創立記念講演「創意無限」を聴いて

会報編集担当要約



まず、当時NHKの人氣番組であった「プロジェクトX」で、「超音波診断機エコー開発物語」(平成十六年放映)に私が取り上げられた時の短縮版を見ながら説明します。

「超音波画像診断法」というのは、文字通り「音」を利用して患部の位置、大きさ、色彩等さまざまな側面を映像化することによって、患者に対して痛みやストレス、危険などを与えずに診断する方法です。

それまでの方法は、手術による患部の発見やX線を使ったレントゲン診断しかなかったのですが、それらはいずれ

も患者に対して痛みや危険性を与えるものでした。私の当初の専門分野であった脳腫瘍の診断において、何とかこの「超音波診断法」が使えないものかと昭和二十五年頃から一所懸命に考えはじめました。昔から人間の耳に聞こえる「音」を利用して物事を判断する方法には、例えば「樽を外から叩いてワインの量を計る」「金属を叩いて内部の傷の有無を調べる」「すいかをポンポンと叩いてその糖度を測る」などいろいろあります。た。「聴診器」は皆さんにも馴染みでしょう。

しかし「超音波」は人間の耳には聞こえません。コウモリという動物に代表されるように動物の世界では一般的に

本日の演題「創意無限」という意味を簡単に言うと、「頭を使い切れ、アイデアを出し切れ、そしてそのための限らない努力を続けよ」ということでもあります。

平成21年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成21年7月4日(土) 総会17時(受付開始は16時30分) 懇親会18時
2. 場 所：江陽グランドホテル <地下鉄広瀬通下車 西一番出口徒歩0分>
TEL: 022-267-5111
3. 懇親会費：6,000円
4. 申込締切：6月24日(水)
★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。
★出席申込は、下記の申込先に、FAX又は電話でお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1
仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686
6. 当 番 回 期：高20、32、33、44、45回

この回期の方々は常任委員を中心にご協力をお願いいたします。

同期の方、お誘い合わせの上、
多数ご参加下さい。

この超音波を使ってお互いにコミュニケーションをとっているのです。

一方、人間世界でも「超音波探傷器」や「魚群探知機」などでこれら利用されているのだから、それを何とか医学面で利用できないかと考えて研究を始めました。その頃オーストリアやアメリカでも同じような研究がなされていまして、それらの国々ではその困難性のために、数年で研究を放棄してしまいました。

昭和二十七年頃から東北大学電気通信研究所の菊池喜充教授等と共に私は本格的にこの研究に打ち込みましたが、はじめのうちはこの研究も「そんなことはできるわけがない」と国内の医学界では認められませんでした。

それでも私は物理学の分野である超音波の勉強もしながら、「超音波」を「細い音の束」のイメージとして捉え、種々の困難と戦いながら必死で研究を続けました。今、振り返ってみても研究の過程ではいろいろな思い出が私の脳裏をよぎります。例えば、私の研究がアメリカの国際音響学会で認められ、渡米するこ

とになったのですが、その渡航費用がないために、船医として雇ってもらい、貨物船に乗ってアメリカに渡ったこと、また発明した機器の実験のため、自分の頭を水の中に漬けた状態で脳の映像化に挑戦したり、あるいは水をいっぱい張ったドラム缶の中に、全身素っ裸で潜り込み、目的の臓器を映像化しようとしたこと等々枚挙にいとまがありません。この原動力になったものは、まさに若さという無限の可能性と不屈の探求心、そして体力だったと思います。このように無我夢中で研究に没頭しているうちに、いつしか三十年の歳月を経て、超音波診断装置実用化の目途が立ち、四十年にして実用化の成功にこぎつきました。現代医療では、問診・聴打診・触診・臨床でのCT・MRI・PET等の方法と並んで、我が国独自の開発技術であるこの超音波画像診断法は欠かせないものとなっています。



講演中の和賀井氏、背景は実験の様子

- 略歴 ●
- 大正13年 宮城県石巻町生
- 昭和12年 旧制仙台二中（現仙台一高）入学
- 昭和18年 旧制第二高等学校入学
- 昭和20年 旧制新潟医科大学入学
- 昭和25年 順天堂医科大学外科入局・超音波診断法研究開始
- 昭和31年 渡米・国際会議初発表
- 昭和45年 順天堂大学教授
- 昭和61年 紫綬褒章受章
- 平成2年 順天堂大学名誉教授
- 平成7年 勲二等瑞宝章受章
- 平成18年 日本学士院賞受賞
- 平成20年 石巻名誉市民賞受賞

されるようになり、早期発見・早期治療・そして早期回復実現のために手軽で、患者に苦痛や障害を与えることなく治療ができる強い味方になっていきます。

このように決して諦めず、研究に努力した結果に対して、平成十八年に私は日本学士院賞受賞の栄に浴しました。

学術の最高権威である日本学士院賞を受賞した同窓生は確か五人だったと記憶していますが、学士院賞受賞者を一つの学校から五人も出しているところは、母校をおいてほかにはないと思います。このことは生徒諸君も十分誇りに足る事実であります。最後にあります、この長

い研究の歴史を支えたものは、私が学んだ旧制二高の教育理念である「尚志」(志を尚くす)であります。どんな逆境にあっても、何ものにも負けず、本来の自分の目的達成のために邁進しようとする「高志」を持ち続けるという意味であります。

さらに諸君にアドバイスをしたいことがあります。それは学力がいくら高くてもそれを長期間の研究に活用し続けることのできる「体力」が欠かせないということです。戦後の学制改革によって残念ながら旧制二高はなくなりましたが、最後の校長であられた野口 明先生の歌を紹介して私の本日のお話

の締めくくりとします。

「大いなる涅槃の如く二高逝く 友よ尚志の契り守らん」

この和賀井氏の講演は後日五月四日付け河北新報朝刊に取り上げられた。

OB名誉教授がエール
創立109年仙台二高で講演会

仙台市青葉区の仙台二高で一日、創立百九周年記念講演会が開かれ、旧制仙台二中の卒業生で順天堂大学医学部の和賀井敏夫名誉教授(八四)が在校生に研究に懸ける思いを語った。

和賀井さんは世界に先駆けて超音波(エコー)診断法を開発して実用化した。講演ではエコーを使った胎児や心臓の画像を示し、「患者に苦痛を与えない検査法を求めて試行錯誤を重ねた。アイデアを形にするには努力が必要だ」と述べた。

講演後は生徒と校歌を熱唱。「何事も若さと勢いで乗り越えてほしい」とエールを送った。

(河北新報社の御厚意により転載)

母校の現況

共学化三年目、全学年が共学

同窓会教育問題担当

母校が同窓会の意志とは関係なく共学化され当平成二十一年度で三年目となった。従って、この三月に卒業した高校61回生が別学最終同期となり、この四月には共学化三期生の入学を見た。これにより母校は一年生から三年生まで全学年が共学となった。五月時点での在籍数は三年生男子二四七名（二五二）、女子六八名（七〇）、計三二五名（三三二）、二年生男子二三三名（二三四）、女子九七名（九六）、計三三〇名（三三〇）、一年生男子二二五名（二二四）、女子九

七名（九七）、計三二二名（三二一）である。（括弧内は入試合格者数。）全学年合計では九五七名であり内女子が二六二名なので、女子比は二七％となる。現在は学力選抜制度の他に推薦選抜制度があり、母校共学化後の推薦選抜に於ける女子合格率は男子合格率より二倍近く高い。また、女子生徒は男女別の学級を設けること無く各学級にはほぼ均等に配分されている。生徒会会長は三年生女子、応援団幹部にも女子が一名進出している。

写真は四月二十八日（火）に行われた運動会の様子である。以前であれば男子の声と果断な立ち振る舞いに満ちていたものが、今では女子の嬌声や声援が飛び交うものとなっている。

学校の方針によれば共学化初年度より学内の体制等を共学化体制完成の方向としている。よって、当面は男子校時代の様相を残しつつも、今後は相応の変容が顕れて来るものと思われる。

尚、母校近隣の旧宮城県第一女子高校は既に平成二十年

度から共学化され、校名も『宮城第一高校』と変更された。また、永年の好敵手である仙台一高は平成二十二年度から共学化される予定である。こちらは校名の変更は無いと公表されている。

◆ 先の会報41号（平成二十年冬発行）記事『二高共学化後の状況』にて「二年生女子数の異動について「退学等」と記載したことに関し学校側より『転学』との説明があったことを付記する。



開 会 式



障害物競走



徒 競 走

[一般会計] 平成20年度収支決算報告及び平成21年度予算案

(平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予算額 (A)	実績額 (B)	(B) - (A)	平成21年度 収支予算案
収 入	前年度繰越金	2,427,357	2,427,357	0	1,062,162
	年会費	8,700,000	8,608,000	-92,000	9,000,000
	(人数)	(2,900人)	(2,869人)	(-31人)	(3,000人)
	入会金	1,152,000	1,137,600	-14,400	1,152,000
	(人数)	(320人)	(316人)	(-4人)	(320人)
	受取利息	8,000	3,000	-5,000	3,000
	寄付	0	0	0	0
	名簿等売上金	0	0	0	0
	奨学会受入金	200,000	0	-200,000	-
	その他収入	0	4,200	4,200	0
特別会計受入金	0	0	0	0	
合 計 (C)	12,487,357	12,180,157	-307,200	11,217,162	
支 出	総会等案内発送費	2,500,000	2,123,679	-376,321	2,200,000
	(発送通数)	(16,000通)	(14,541通)	(-1,459通)	
	秋季会報発送費	2,900,000	2,860,131	-39,869	2,850,000
	(発送通数)	(16,000通)	(14,255通)	(-1,745通)	
	校内活動助成費	1,200,000	930,000	-270,000	1,100,000
	卒業記念品	700,000	462,500	-237,500	480,000
	総会旅費補助	260,000	241,900	-18,100	250,000
	総会補填	230,000	222,460	-7,540	230,000
	(総会出席者数)	(150人)	(150人)		
	P同懇補填	150,000	176,192	26,192	180,000
	(出席者数)	(150人)	(137人)	(-13人)	
	地区総会等旅費	150,000	210,099	60,099	150,000
	地区総会等祝儀	100,000	90,000	-10,000	90,000
	会議費	120,000	163,149	43,149	150,000
	慶弔費	180,000	255,400	75,400	200,000
	人件費	600,000	568,160	-31,840	600,000
	事務消耗品費	150,000	129,637	-20,363	130,000
	切手葉書送料	150,000	98,790	-51,210	150,000
	電話料	320,000	390,992	70,992	400,000
	振込手数料	370,000	325,705	-44,295	400,000
	設備費	50,000	0	-50,000	50,000
	雑費	50,000	121,861	71,861	90,000
	旅費	390,000	447,340	57,340	450,000
	共学化問題等対策費	200,000	0	-200,000	-
	教育問題研究費	-	-	-	200,000
	特別会計繰入金	1,300,000	1,300,000	0	0
	予備費	300,000	-	-300,000	300,000
合 計 (D)	12,370,000	11,117,995	-1,252,005	10,650,000	
繰越金 (C) - (D)	117,357	1,062,162		567,162	
現預金等残高 (H21. 3. 31)	現金(事務局)		44,400		
	現金(事務所)		34,390		
	普通預金(七十七)		925,692		
	郵便振込(泉南中山)		57,680		
	郵便貯金(大町)		0		
	仮払金		0		
	借入金		0		
	総会勘定差引合計		1,062,162		

[特別会計] 平成20年度収支決算報告

(平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	収 支 決 算 額
収 入	前年度繰越金	18,914,438
	特別会計繰入金	1,300,000
	預金利息(1年)	60,718
	預金利息(解約)	83
	合 計	20,275,239
支 出	合 計	0
次期繰越金		20,275,239
預金等残高 (H20. 3月末)	定期預金(七十七)	20,200,000
	普通預金(七十七)	75,239
	合 計	20,275,239

平成20年度事業報告

Table with 4 columns: Date, Day, Event Name, Location/Time. Rows include 5月14日 水 臨時評議員会, 5月31日 土 定例評議員会, 6月1日 日 同窓会春季号 発行, etc.

平成21年度事業計画案

Table with 4 columns: Date, Day, Event Name, Location/Time. Rows include 4月25日 土 第1回評議員会, 6月1日 月 同窓会春季号 発行, 6月2日 火 同窓会総会 第1回当番回期打合会, etc.

平成二十一年二月二十七日(金)、午前十時より二高講堂において、男子校最後の卒業生である第61回生(三二六名)の同窓会入会式が厳かに取り行われた。

同窓会入会式厳粛に挙行!

- 評議員: 日置壮一郎, 小林 龍生, 鈴木 裕太, etc.
常任委員: 鈴木 邦夫, 豊澤 弘伸, 吉田 幸子, etc.

- 平成21年度 学校評議員: 権 奇哲(49), 鈴木 邦夫(68), 豊澤 弘伸(47), etc.

PTA・同窓会 合同新年懇親会報告
平成二十一年一月二十三日(金)、ホテルメトロポリタン仙台を会場にして、恒例のP同懇親会が開催されました。

- PTA研修会 (十六時三〇分) 講師 木村まさ子氏 (食育研究家)
新年懇親会 (十八時二〇分)
①開会の辞 同窓会事務局長 戸田 慶三
②校歌斉唱
③挨拶 学校長 庄司 恒一, PTA会長 加藤 幹夫

- 同窓会会長 西澤 潤一
④来賓紹介
⑤叙勲者への記念品贈呈
⑥幹事代表挨拶 新本 恭雄(高20回)
⑦乾杯 田中於菟彦(高15回)
⑧祝宴・アトラクション
⑨応援歌斉唱
⑩万歳三唱 PTA副会長 吉田 徹
⑪閉会の辞 同窓会副会長 山下 健二
〈当番回期〉 高20・32・33・44・45回

「クラブOBの常任委員化」の

ご提案

高22回 鈴木 誠一（理事）

理事就任時に、「明るく楽しい同窓会」「若い人が気軽に集える同窓会」という目標を掲げました。この目標を達成するために、「クラブOBの常任委員化」をご提案いたします。仙台二高の同窓会には、国会に当たる評議員会という議決機関があり、各回期という卒業年度の代表で構成されており、評議員会に若い同窓生の声を一層反映するためにも、歴史的縦軸であるクラブOBの常任委員化を提案いたします。現在、OBが直接技術指導しているクラブは多数あります。クラブごとのOB会で、現役生を物心両面から支えておられる現実も多く見られます。これを仙台二高同窓会の下に、回期の横軸に加え縦軸として位置付け、広がりを持たせ、同窓会を活性化させようとするものです。この活性化は、①総会出席人数、②会費納入人数の2点で捉えます。「クラブO

平成20年秋の叙勲

旭日双光章 佐藤 重行（高4回）

平成21年春の叙勲

瑞宝双光章 中目 喜久男（高1回）

旭日双光章 草刈 兵一郎（中46回）

前号叙勲記事の訂正

誤：：：旭日双光章 嶺岸 謙一郎（高9回）

正：：：瑞宝小綬章 嶺岸 謙一郎（高9回）

他受賞

平成21年国際ロータリー

超我の奉仕賞 移川 仁郎（中36回）

支部総会 同期会 開催報告

仙台二高・高19回 同窓会報告

伊勢 隆一（高19回）

平成二十年十月四日（土）、仙台二高・高19回（昭和42年卒）の同窓会をホテルリッチ

フィールド仙台にて、八十四名の参加者のもと盛大に開催した。卒業以来五

大いに盛り上がった同窓会となった。還暦同窓会を記念して、会費の中から一部を仙台二高同窓会へお役に立てて頂くべく寄付をさせて頂きました。次回は六十五歳か七十歳時に予定。

回目の同窓会だったが、今回は還暦の記念となる節目の同窓会であった。卒業当時八クラス八名だった恩師の先生方もすでに四名がお亡くなりになられたが、関本朝吉先生、尾形朝可先生、山本実先生、渡辺剛吉先生の四名の先生にお元気にご参加頂いた。19回期代表幹事の本郷道夫君（東北大学総合診療部教授）の挨拶の後、ほぼ十年ぶりの旧交を温めた。には東京より駆けつけた菅原政治郎応援団長の旗振りのもと応援歌を高らかに歌い上げ、



関西北陵会 開催報告

小松 寛明 (高33回)

平成二十一年三月十四日(土)、第十一回関西北陵会総会ならびに懇親会を開催しました。場所は、大阪梅田、ホテルグランヴィア大阪二十階クリスタルルーム、参加者十四名でした。仙台から庄司恒一校長先生、山下健二同窓会副会長、戸田慶三同窓会事務局長に出席していただきました。また、関西宮城県人会か



ら佐藤勝会長(仙台商業高校卒業)にご出席していただきました。

校歌斉唱に続き、参加者一同平成二十年七月に逝去された高原脩氏(高7回)のご冥福を祈りました。来賓の方々、星三男会長(高6回)のあいさつに続き、関西北陵会恒例の講演会は菅原俊秀氏(高10回)に、「介護の現状と課題」と題して講演いただきました。菅原氏は滋賀県東近江市で民生委員を務めており、ボランティア活動に積極的に関わっています。介護の問題は私たちに

とって切実な問題です。福祉にも造詣が深い菅原氏から自らの介護経験も交えて大変勉強になるお話をいただきました。また、この講演会のために各種文献の調査とインターネット検索から貴重な介護関連の資料を大分提供していただきました。

前会長の船木良保氏(高4回)の音頭で乾杯、懇親会。木下彰氏(高20回)のエールの後、凱歌斉唱にてお開きとなりました。今回は高橋美光氏(高6回)と上松昌美氏(高19回)が初めて参加されました。転勤や出張、また進学や觀光などで関西方面に来る機会がありましたら、ご一報ください。

中学39回卒 さんきゅう会

丸谷 孝郎 (中39回)

謹みて申し上げます。母校ますます御隆盛の趣心からお慶び申し上げます。さて、さんきゅう会(旧制仙台二中第39回卒)東京支部の懇親会が一年振りに銀座六丁目の料亭入母屋で開催されました。

運輸省の技師として内外で活躍された神谷弘君(幹事)の尽力に依るものです。参加者は暫くぶりでの出席の萩原卓君以外は山川民夫(前同窓会東京支部長 学士院会員 東大名誉教授)、熊谷芳博(前理想教育財団専務理事)、矢嶋一郎(飛騨高山の名主の子孫 財界の巨頭故藤山愛一郎翁の片腕として活躍)、堀田満(前同窓会長故堀田康哉氏の実弟)等の知名

人の会合でした。お互いに米寿を迎えどこか支障の出る年頃です。前年並の参集で満足しなければなりません。生存者は卒業時の三割台となり、今年に入って他界した阿部純英、平野昂、本田正の三君初め物故者の冥福を祈り更に生存者のますますの御健祥を祈った次第です。話題は男女共学のことから始まり前年度の女子七十名の合格から今年(二十年)は女子九十六名の合格情報が披露され、将来男女比率は五十対五十まで進展するのではないかとという話題に集約されました。例えば福島女子高の如く校名変更(橋高校)校歌変更まで発展せずに男女共学に移行するのはまあまあとの安堵感が漂いました。

建学以来百余年「質実剛健」の精神が「文武一道」となっている校風を支え今日に受け継がれて来たこの大きな誇りと喜びが新時代の到来に将来



さんきゅう会 (仙台二中39回卒) 東京支部会員会合
丸谷 孝郎
矢嶋 一郎
山川 民夫
神谷 弘
萩原 卓
堀田 満
熊谷 芳博
於銀座 入母屋
平成20年11月21日

どの様に移行するのであろうかという話題に集約されました。心豊かでたくましい自己を形成する後輩各人の行動を見守るしかないのではないかとという意見が大半でした。大学進学の方も優良一流校への合格者の増加(質的変化)が期待されるだろうとの見通しが支配的でした。

他には各人の処世術の紹介健康維持法の披露など更に山川民夫君の科学新聞に連載された新未知への群像「科学者が語る自伝」の紹介もあり有意義な会合でした。来年の再会までお互いが元気で頑張ろうとのことで二時間半の会合は幕となった次第です。

同窓会活動が依って立つ基盤は会員の皆さんから納めていただく「年会費」にあります。この年会費の納入額(率)がここ数年低迷傾向にあります。

因みに、昨二十年度は会報を送った人約一万五千人に対して、会費納入者数は二千九百人弱で、その納入率は二十%にも達しませんでした。

会費は同窓会報の発行や各支部の皆さんとの情報交換、また母校のクラブ活動や運動会などに対する支援金として、有効に活用されていますが、毎年収支ギリギリの状況が続いています。

各支部総会にお邪魔するたびに、しつこく会費の納入をお願いしている所以です。

特に来年(平成二十二年)は母校創立百十周年にあたり、これまで十年ごとに行ってきた記念事業を来年も実施してはどうかという意見がある中で、財源的な裏付けが欠かせません。そのためには、今年度の会費納入額を大幅に増やし、来年に備えておかなければなりません。

理事・評議員・常任委員全員が力を合わせて、同回

**本年度は
年会費の
納入率向上を
お願いします!**

理事会

**平成20年度 年会費
納入率・納入額上位回期**

【納入率上位 5 回期】

順位	回 期	納入率
1	高 8 回	49.5%
2	中42回	43.5%
3	高11回	42.3%
4	高 3 回	41.8%
5	中43回	41.6%

【納入額上位 5 回期】

順位	回 期	納入額
1	高 8 回	334,000円
2	高11回	333,000円
3	高60回	291,000円
4	高10回	270,000円
5	高 6 回	258,000円
5	高14回	258,000円

期をはじめ前後回期の会員に働きかけて、会費の納入を督促して行かなければなりません。常任委員は同窓会活動の絆です」にあるように、特に常任委員の皆さんの活躍が大きな力になります。

各回期から選出された人達ばかりでなく、クラブ活動出身のOB会からも常任委員を補強して、その充実を図ってはどうかという意見が理事会で出ていますので、いずれ評議員会でも審議していただくことになると思います。

同窓会活動のキーマンである常任委員層の充実が、次のことが必須条件になります。

一、各回期からの漏れない選出。
二、常任委員個々人の自覚。

常任委員名簿の整備等については、今後とも理事会が評議員会の理解を得ながら進めたいと考えていますので、皆さんのご協力をよろしく願います。

**編集担当からの御願い
新企画への情報及び
原稿の御願い**

会報編集担当では次の企画を準備中です。

一、応援歌の歴史

現在、仙台二高には旧仙台二中時代からのものも含め応援歌が十曲あります。創立百十周年を来年迎えるに当たり、これらの歌を改めて探訪するのも意義深きことと考えております。校歌のみならず応援歌も校風や伝統の一郭を成しております。因みに、校歌並びに応援歌の一部に就いては既に小出氏(高七回)の解説が40号(平成十九年十二月)及び平成二十年春号に『その一』、『その二』として掲載されています。このような解説を応援歌等全曲に及ぼさうというのがこの企画の趣旨です。

そこで、各応援歌等の①作詞者、②作曲者(又は元歌)、③制作時期、④制作の動機などに就いて情報の御提供を御願致します。宛て先は同窓会事務局、郵送もしくはファクスにて御願致します。

二、卒業生の進学先報告(仮題)
「北陵健児の行くところ」(進学編)
卒業して大学に進み大学・大学院在学中の方を対象にします。

①今自分の在学している大学の様子、②自らの学生生活ぶり、③何を学んでいるか等を紹介して下さい。全国に展開する同世代の卒業生にも有効な連絡となります。字数は八百字程度、写真も一枚程度。宛て先は同窓会事務局、郵送もしくはファクスにて御願致します。

三、卒業生の活躍(仮題)

「北陵健児の行くところ」(職業編)既に社会に出て第一線で活躍している卒業生の方が対象です。

①自分の働いている分野の紹介、②担っている業務の概要、③仙台二高・旧仙台二中在学中の経験で社会人になって活かしているもの等を紹介して下さい。卒業生の活躍ぶりが同窓会全般に伝わり人材の多才さも改めて認識されます。字数は八百字程度、写真も一枚程度。宛て先は同窓会事務局、郵送もしくはファクスにて御願致します。

●原稿等の送り先

九八〇―八六三一
仙台市青葉区川内澗橋通一
仙台二高同窓会事務局
FAX 〇二二・二二一・五六八六
『応援歌の歴史情報在中』、『卒業生の進学先報告原稿在中』、『卒業生の活躍原稿在中』と封書及び書面に明記願います。

平成20年度 同窓会費納入状況

会報 発送数	口数	納入率	入金額	会報 発送数	口数	納入率	入金額	会報 発送数	口数	納入率	入金額			
中27	9	2	22.2%	6,000	高7	187	65	34.7%	195,000	高34	136	15	11.0%	45,000
中28	14	2	14.2%	6,000	高8	224	111	49.5%	334,000	高35	147	14	9.5%	42,000
中29	18	2	11.1%	6,000	高9	227	83	36.5%	249,000	高36	160	20	12.5%	60,000
中30	16	3	18.7%	9,000	高10	278	90	32.3%	270,000	高37	150	11	7.3%	33,000
中31	17	1	5.8%	3,000	高11	262	111	42.3%	333,000	高38	160	10	6.2%	30,000
中32	16	2	12.5%	6,000	高12	251	69	27.4%	207,000	高39	173	12	6.9%	36,000
中33	18	2	11.1%	6,000	高13	225	66	29.3%	198,000	高40	176	20	11.3%	60,000
中34	25	8	32.0%	24,000	高14	260	86	33.0%	258,000	高41	183	12	6.5%	36,000
中35	30	8	26.6%	24,000	高15	247	67	27.1%	201,000	高42	201	9	4.4%	27,000
中36	30	7	23.3%	21,000	高16	231	69	29.8%	207,000	高43	204	20	9.8%	60,000
中37	44	12	27.2%	36,000	高17	239	66	27.6%	198,000	高44	202	11	5.4%	33,000
中38	40	10	25.0%	30,000	高18	204	47	23.0%	141,000	高45	229	18	7.8%	54,000
中39	55	19	34.5%	57,000	高19	197	62	31.4%	186,000	高46	230	18	7.8%	54,000
中40	58	16	27.5%	48,000	高20	178	32	17.9%	96,000	高47	245	17	6.9%	51,000
中41	73	21	28.7%	63,000	高21	252	59	23.4%	177,000	高48	243	12	4.9%	36,000
中42	78	34	43.5%	102,000	高22	279	61	21.8%	183,000	高49	255	13	5.1%	39,000
中43	84	35	41.6%	105,000	高23	195	44	22.5%	132,000	高50	244	12	4.9%	36,000
中44	101	34	33.6%	102,000	高24	201	28	13.9%	84,000	高51	244	14	5.7%	42,000
中45	117	47	40.1%	141,000	高25	197	36	18.2%	108,000	高52	241	26	10.7%	78,000
中46	119	39	32.7%	117,000	高26	224	46	20.5%	138,000	高53	267	16	5.9%	48,000
中47	134	44	32.8%	132,000	高27	207	29	14.0%	87,000	高54	267	23	8.6%	69,000
高1	147	39	26.5%	117,000	高28	203	37	18.2%	111,000	高55	282	32	11.3%	96,000
高2	169	55	32.5%	165,000	高29	193	21	10.8%	63,000	高56	271	31	11.4%	93,000
高3	191	80	41.8%	240,000	高30	189	23	12.1%	69,000	高57	287	37	12.8%	111,000
高4	208	85	40.8%	255,000	高31	185	27	14.5%	81,000	高58	296	50	16.8%	150,000
高5	205	72	35.1%	216,000	高32	166	19	11.4%	57,000	高59	313	55	17.5%	165,000
高6	225	86	38.2%	258,000	高33	154	20	12.9%	60,000	高60	297	97	32.6%	291,000

合計 14,199 2,864 8,593,000

青色地は納入率上位5位、 灰色地は納入額上位5位

1口 ¥3,000-

仙台二高・イートンカレッジ

国際交流の御報告

国際交流実行委員会委員長 加藤 幹夫

昨年八月の英国の名門校イートンカレッジとの国際交流行事に際しましては、皆様がその実現に向けて実にさまざまにご尽力くださいましたこと、改めて衷心より御礼申し上げます。今回は、サッカーの試合を柱とした交流ではありませんでしたが、ホームステイも含めて、両校の生徒にとってたいへん有意義なものであったと

感じております。とりわけ本校の生徒には、多感なこの時期に、こうした異文化交流ができたことは、まさにかけがえのない貴重な経験であったと存じます。本事業にご賛同いただいた方々からの多大なるご厚情につきましては、最終的に別表のとおり決算いたしました。その上で、多くの皆様方のご尽力により成功を収めること

ができたこの記念すべき事業の記録を残しておくべく、概要や感想をまとめた「記録報告書」を製作いたしました。今後とも、本校の発展につきまして、一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

同窓生からの 寄贈本の御紹介

(平成20年12月以降)

● 日中戦争はドイツが組んだ

阿羅 健一(高14回)様

● 「兵士」になれなかつた三島由紀夫

猪狩 武(高5回)様

● 東北の歴史

八代 典二(中36回)様

宮城県仙台第二高等学校イートンカレッジ 国際交流事業決算報告書

1. 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			増	減	
1 寄 付 金	2,850,000	2,487,829		362,171	寄付金 延359件
2 会 費	150,000	150,000			歓迎レセプション会費@5,000×30人
3 雑 収 入	0	0			
合 計	3,000,000	2,637,829	0	362,171	

2. 支出の部

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			増	減	
1. 事 業 費	2,500,000	2,302,928		197,072	
(1)宿 泊 費	800,000	781,779		18,221	8/25 310,000 8/22～ 471,779
(2)輸送・交通費	130,000	101,805		28,195	バス・タクシー・トラック便(荷物搬送費)
(3)親善試合費	400,000	395,819		4,181	会場使用料・交流会
(4)歓迎レセプション	600,000	500,115		99,885	レセプション飲食代
(5)ホームステイ費	300,000	281,570		18,430	ホームステイ協力費・保険費用
(6)観光案内費	250,000	222,640		27,360	市内・松島観光費用
(7)記 念 品 費	20,000	19,200		800	校章・手ぬぐい等
2. 事 務 費	400,000	314,838		85,162	
(1)印 刷 費	200,000	148,675		51,325	払込用紙 4,300 報告書 144,375
(2)郵 送 費	120,000	112,302		7,698	案内状・礼状他
(3)払 込 手 数 料	50,000	32,310		17,690	寄付金振込手数料
(4)事 務 用 品 費	30,000	21,551		8,449	代表者印・用紙等
4. 予 備 費	100,000	0		100,000	
合 計	3,000,000	2,617,766		382,234	

3. 残高の部

総収入額	総支出額	残 額	摘 要
2,637,829	2,617,766	20,063	繰越基金とする

多大なご協力をいただきまして、大変有難うございました。

*) 記録報告書は同窓会事務室に常備、閲覧可能です。

平成21年度 大 学 入 試 合 格 者 数 (延べ人数)

国立大学

大学名	計	現役生	浪人生
北海道大	9	3	6
岩手大	3	1	2
東大	文	2	1
	法	7	3
	経	14	7
	教	3	2
	理	10	7
北大	工	30	12
	医/医	8	4
	医/保	2	2
大	歯	4	1
	薬	3	2
	農	3	0
小計	86	41	45
宮城教育大	9	3	6
秋田大	4	2	2

大学名	計	現役生	浪人生
山形大	16	6	10
福島大	4	1	3
茨城大	1	0	1
筑波大	4	1	3
宇都宮大	1	0	1
埼玉大	4	3	1
千葉大	3	2	1
東京海洋大	1	0	1
電気通信大	2	1	1
東大	文一	3	2
	文二	2	2
	文三	1	1
	理一	6	2
	理二	2	0
	理三除く	1	1
小計	15	8	7

大学名	計	現役生	浪人生
東京医歯大	1	1	0
東京外大	1	1	0
東京学芸大	2	0	2
東京工業大	2	1	1
東京農工大	2	1	1
一橋大	10	6	4
横浜国立大	4	3	1
新潟大	4	3	1
金沢大	2	1	1
福井大	1	0	1
名古屋大	3	0	3
京都大	6	4	2
大阪大	2	2	0
神戸大	1	1	0
山口大	1	1	0
徳島大	1	0	1
国立大学合計	205	97	108

私立大学

大学名	計	現役生	浪人生
酪農学園大	1	0	1
岩手医大	4	0	4
東北学院大	22	8	14
東北工大	1	1	0
東北福祉大	1	1	0
東北薬科大	2	0	2
東北芸術工科大	1	1	0
自治医大	2	0	2
青山学院大	7	2	5
学習院大	2	0	2
北里大	3	0	3
慶応大	30	15	15
國學院大	1	0	1
国際基督教大	2	1	1
駒沢大	1	1	0
芝浦工大	5	3	2
順天堂大	2	0	2
上智大	5	4	1
昭和大学	1	0	1
成蹊大	3	0	3
成城大	2	1	1
専修大	2	1	1
創価大	1	1	0
玉川大	1	0	1

大学名	計	現役生	浪人生
中央大	51	11	40
東京医大	1	0	1
東京工科大	2	2	0
東京慈恵会医大	1	0	1
東京電機大	1	0	1
東京農大	2	0	2
東京理大	41	9	32
東洋大	1	0	1
日本大	1	0	1
法政大	14	2	12
武蔵野美大	1	0	1
明治大	41	14	27
明治学院大	1	0	1
立教大	6	4	2
早稲田大	47	14	33
麻布大	1	1	0
神奈川大	3	0	3
金沢医大	1	0	1
同志社大	11	4	7
立命館大	19	1	18
近畿大	1	0	1
関西学院大	1	1	0
私立大合計	350	103	247

公立大学

大学名	計	現役生	浪人生
宮城大	4	3	1
秋田県立大	1	0	1
会津大	1	1	0
福島県立医大	1	1	0
高崎経済大	1	0	1
首都大東京	2	1	1
名古屋市立大	1	0	1
大阪府立大	1	1	0
九州歯大	1	0	1
公立大学合計	13	7	6

大学校等

大学名	計	現役生	浪人生
防衛医科大学校	3	0	3
防衛大学校	1	1	0
マンチェスター大学予備校	1	0	1
大学校合計	5	1	4

平成21年4月1日10時現在

じぶんとを發揮して連覇達成

第64回野球定期戦開催

五月九日、五月晴れの穏やかな日射しのもと第六十四回野球定期戦が、クリネックススタジアム宮城（宮城球場）で開催されました。昨年は、最後の男子学年となる三年生を中心としたチームが見事一高を五対〇で完封し、三年ぶりの優勝に酔いました。今年の二高は選手層が薄くはなったものの、連覇に向けて気力は充実、戦前の劣勢の予想を覆すべくこの一戦に臨みました。

試合は、本校庄司恒一校長の始球式に続き、一三時二二分に開始。二高先発の主戦木村優斗は、初回一高に一死から内野安打を許したものの、後続を抑え無得点のスタート。その

裏二高は、一高先発の主戦渡辺晴仁投手の定まらない制球にじっくりと向き合い、三連続四死球で無死満塁のチャンスを得、四番鈴木時の初球暴投で一点を先取。しかし、尚も二、三塁の好機に四番、五番が連続三振し、気落ちし



二高好打

打たせてとることを持ち味にしている二高木村は、そうは言いながらも二回、先頭打者から二連続安打を許し、その後犠打の処理ミスが絡み、一点を献上、三回も二死から長打を含んだ連続安打を許し、さらに一点を許してしまいました。四回こそ三者凡退に抑えたものの、五回には二死から五番佐藤拓には三塁打を打たれ、とうとう同点に

を追加し、前回で三つのリードとしました。



一高応援席越しに見る二高応援席

追いつかれてしまいました。二高打線は、二回以降立ち直った一高主戦渡辺、四回からは二番手大沼の前に凡退を繰り返していましたが、同点で迎えた五回裏にしぶとい攻撃を見せました。この回先頭の一年柴田が内野安打で出塁、犠打、内野ゴロで走者を進め、二死三塁とすると、二番の三年泉館がカウント二一から、こもしぶとくセンター前に運び、勝ち越しに成功しました。グラウンド整備を挟んだ後半戦、二高木村は、安打を許

しながらも要所を締め、また、バックの息のあった連携や好守にも助けられ、八回まで〇行進。一方二高は、六回以降三者凡退の繰り返して、一高に押され気味の流れて最終回へ突入。一点を追う攻防に両校のスタンドも声を限りに応援を続けていたことはいまでもありません。

最終回の一高は、一死後、四球と捕手の牽制悪送球で二塁に達し、さらに次打者が内野安打、続けて盗塁も決め、一死二、三塁とまたとない好

三部定期戦及び 軟式野球定期戦結果速報

今年は硬式野球定期戦の翌週、五月十六日（土）に行われました。各部熱戦、激戦が展開されました。

試合結果

バレーボール	二高 0 - 3	一高 <負け>
柔道	二高 3人残し	一高 <負け>
バスケットボール	二高 42 - 91	一高 <負け>
軟式野球	二高 0 - 5	一高 <負け>



機を手にしました。打者は三番。二高ベンチには何ともいえない緊張感が走ります。ここで一高ベンチは二ボールからスクイズを仕掛けてきました。ところが、無情にも打球は投手前の小飛球となり、万事休す。木村が捕球して二死、本塁目前まで走っていた三塁走者は戻ることもできず、木村から三塁カバーに入った関山に送球して併殺の完成。試合の最後は、あっけなくもあり、また、劇的でもありませんでした。終わってみれば、一高十安打、二高三安打。ピンチを耐え忍び、少ない好機をものにしたの勝利でありました。



二高応援団

二 高 選 手

リーダーの采配のもと、統制の取れた応援を展開してくれ、どれほど野球部が勇気づけられたかは、はかりしれません。また、いつにましても母校の応援に駆けつけてくれた同窓生の多数の参加もあり、最後まで熱い声援がグラウンドに渦巻く、大いに盛り上がった大会となりました。皆様のおかげで優勝回数も本校の二十八回（一高二十七回）となり、一步リードすることができました。今年も最後まで熱心に応援してください。皆様に、この場をお借りして御礼を申し上げます。

(硬式野球部副部長
高32回 和賀久佳)

今春の人事異動

▶転出された先生方▶

庄子 英利 教頭(理科)

芹沢 良隆 教諭(数学)

(仙台青陵中等教育学校)

遠藤 吉夫 教諭(国語)

(白石高・教頭)

持田 亮 教諭(数学)

(柴田高)

天野 吉人 教諭(音楽)

(仙台高)

菊池 正昭 教諭(理科)

(仙台商業高)

遠藤 美保 教諭(家庭)

(泉高)

阿部 光宜 主査

(岩沼高等学園)

千坂 民美 主事

(富谷高)

▼校内昇格された先生▶

和賀 久佳 教諭(国語)

(仙台二高・主幹教諭)

※主幹教諭(しゅかんきょうゆ)

教頭に次ぐ管理職。生徒の授業

を担当しながら校長、教頭の補佐

をするもの。根拠となる法律規定

は平成二十年四月一日から施行。

▼転入された先生方▶

三塚 明彦 教頭(社会)

(本吉響高)

岩佐 秀一 教諭(数学)

(古川黎明高)

竹内 透史 教諭(国語)

(利府高)

吉原 満 教諭(数学)

(泉高)

高橋 英勝 教諭(英語)

(仙台三高)

天野 宏二 教諭(理科)

(塩釜女子高)

及川 美佳 教諭(家庭)

(県農業高)

東海林久美 常勤講師(理科)

木村 裕之 主査

(教育庁総務課)

浅野 温子 主任主査

(宮城大学)

大内 裕之 非常勤講師(理科)

宮川 南 非常勤講師(美術)

宮尾友加里 非常勤講師(音楽)

高島 香織 スクールカウンセラー

▼退職された先生方▶

佐藤 美穂 常勤講師(養護)

泉館山高・常勤講師へ

菅井 剛 非常勤講師(英語)

佐藤 昌孝 非常勤講師(理科)

田野 大河 非常勤講師(美術)

鈴木 由佳 非常勤講師(理科)

石巻高・実習助手へ

高橋 雅武 非常勤講師(理科)

早坂 孝志 非常勤講師(理科)

桜井 真代 スクールカウンセラー

会 員 計 報

9 3 / 9	3 / 18	3 / 20	2 / 3	1 /	平成19年	12 / 28	12 / 26	12 / 9	12 /	10 / 29	2 / 14	平成18年	9 /	4 / 27	平成17年	4 / 7	平成16年	11 / 19	3 / 19	平成15年	11 / 30	9 / 3	3 / 25	平成13年	2 / 12	平成10年	10 / 31	昭和59年				
江 戸	高 橋	鈴 木	飯 田	佐 藤	伊 達	柿 坂	藤 原	橋 本	土 田	山 崎	竹 谷	佐 藤	鈴 木	竹 谷	松 坂	八 卷	吉 田	千 葉	市 川	星 川	富 沢	清 彦	佐 藤	一 雄	富 沢	清 彦	佐 藤	一 雄				
誠 一 殿	靖 行 殿	義 雄 殿	常 亮 殿	忠 藏 殿	忠 雄 殿	幹 雄 殿	敬 男 殿	弘 治 殿	範 彦 殿	静 二 殿	武 男 殿	享 殿	良 平 殿	剛 殿	潤 弥 殿	保 男 殿	公 殿	一 義 殿	公 殿	一 義 殿	清 彦 殿	清 彦 殿	一 雄 殿	一 雄 殿	清 彦 殿	清 彦 殿	一 雄 殿	一 雄 殿				
高 8 回	高 10 回	中 28 回	中 32 回	中 34 回	中 36 回	中 25 回	高 4 回	高 2 回	高 12 回	高 29 回	中 31 回	高 5 回	高 52 回	高 37 回	中 24 回	中 29 回	中 29 回	中 42 回	中 29 回	中 42 回	高 11 回	高 11 回	中 30 回	中 30 回	高 11 回	高 11 回	中 30 回	中 30 回				
12 / 9	12 / 3	12 / 2	11 / 23	11 / 21	11 / 5	11 / 1	10 / 20	10 / 9	10 / 8	9 / 29	8 / 19	8 / 18	8 / 9	7 / 30	7 / 29	7 / 28	7 / 6	7 / 2	7 / 2	6 / 3	6 / 1	5 / 22	4 / 17	4 / 10	3 / 9	3 / 2	3 / 2	平成20年	11 / 23	11 / 4		
江 刺	武 山	真 山	南 條	佐 藤	氏 家	本 田	菅 原	佐 藤	小 野	上 野	宍 戸	佐 々 木	山 田	黒 川	平 野	小 松	齊	工 藤	松 本	松 本	藤 村	庄 子	千 葉	千 葉	横 山	針 生	寺 島	松 木	庄 司	高 野		
昭 蔵	茂 蔵	吉 信	敏 夫	由 松	卓 也	正 殿	典 男	英 樹	寺 弘	光 雄	保 男	浩 殿	秀 雄	三 郎	鉄 木	昇 殿	泰 司	太 一	太 一	忠 雄	正 夫	正 義	正 敏	友 殿	友 殿	貞 雄	晟 殿	友 正	要 一	昭 殿		
高 6 回	中 46 回	高 6 回	中 46 回	高 4 回	中 35 回	中 39 回	中 42 回	中 47 回	中 41 回	高 12 回	中 43 回	高 7 回	中 36 回	中 46 回	中 32 回	高 10 回	中 45 回	中 34 回	中 34 回	中 44 回	中 43 回	中 47 回	高 2 回	中 47 回	中 47 回	中 35 回	中 39 回	中 39 回	高 1 回	中 45 回		
に は	貢 献	全 衛	教 授	副 学	程 修	昭 和	昭 和	平 成	・	5 /	5 /	5 /	4 /	4 /	3 /	2 /	2 /	2 /	2 /	2 /	1 /	1 /	1 /	平成21年	12 /	12 /	12 /	12 /	12 /	12 /	12 /	
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	平成21年	12	12	12	12	12	12	12	12
は	貢	全	教	副	程	昭	昭	平	・	5	5	5	4	4	3	2	2															